



*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 50 No. 4
August 2025**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース Contents

日本毒性学会からのお知らせ

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第4報）	45
第28回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験	47
第53回日本毒性学会学術年会のご案内（第1報）	48
2026年度日本毒性学会 学会賞候補者推薦要領	49
2026年度日本毒性学会 特別賞候補者推薦要領	50
2026年度日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞）候補者推薦要領	51
2026年度日本毒性学会 学会貢献賞候補者推薦要領	52
2026年度日本毒性学会 奨励賞候補者推薦要領	53
第52回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	54

その他のお知らせ

第32回日本免疫毒性学会学術年会	55
第36回日本微量元素学会学術集会のご案内	55

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第4報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会は、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会として位置付けすることを基本方針として開催いたします。

【第28回日本毒性学会基礎教育講習会】

本講習会はトキシコロジストの体系的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。また、トキシコロジー全般にわたる理解を深めたうえで、日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役に立て下さい。講習は動画配信形式で行います。

1. 日時

2025年4月23日（水）～2026年3月31日（火）

2. 形式

オンデマンド動画配信

3. 申込

個人契約：終了しました。
団体契約：通年受付しております。

※学会ホームページ内、基礎教育講習会ページより、お申込みください。

4. 受講料

団体契約：25,000円

*領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい

*ダウンロード映像、資料の二次利用は固くお断りいたします。

【団体契約について】

同一企業あるいは団体に所属する複数名が同時に受講する場合にお申込み下さい。

本契約での動画視聴は、団体内での体系的な毒性学教育目的（新人/キャリア研修など）や大学等の教育機関での利用を想定しています。団体契約は代表者個人（毒性学会会員に限る）が申し込み、年間（年度）視聴権を得ます。代表者同席のもと複数人が同時視聴することを認めます（研修や講義のサポート教材としての利用を想定）。

※本契約で受講された場合は、受講証明書は発行されません。

認定トキシコロジスト試験 受験・更新資格のための評点として加算されませんので、ご注意ください。

【第28回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験】

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. スケジュール

2025年11月9日（日）/予備日：11月30日（日）
自然災害等により11月9日に試験開催が困難であると判断した場合に、予備日に実施します。なお、試験開催を延期する場合には、3日前（11月6日17時）までに受験者へご連絡いたします。

2. 会場（予定）

専修大学 神田キャンパス

3. 受験料

30,000円

4. 出願期間

2025年8月4日（月）～9月5日（金）消印有効

「認定トキシコロジスト資格の更新」

2000年、2005年、2010年、2015年、2020年に認定トキシコロジストに認定された方となります。更新申請のための書類一式を7月に郵送しております。

「認定トキシコロジスト試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は7月中旬にお送りしております。締め切りは8月31日(日)です。なお、可能な限り、2018年3月発刊の「第3版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。

第 28 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験

日本毒性学会

教育委員会委員長

土屋 由美

認定試験小委員会委員長

福島 民雄

下記の要領で認定試験を実施いたします。

受験希望者は毒性学ニュースまたは学会ホームページに掲載の「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」を熟読の上、出願して下さい。

出願時に提出された書類に基づく書類審査で上記規程に記載されている一定の基準に達しない場合は、認定試験を受けることができませんので出願に際してはこの点に十分に気をつけて下さい。

書類審査で受験資格が認められた場合、試験日の10日前までに受験票をご本人宛送付いたします。試験当日は必ず受験票を持参して下さい。

日本語・英語のいずれか言語での受験になります。英語受験を希望する場合は、申込フォームの英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日時

2025年11月9日（日）

予備日：11月30日（日）

2. 会場

専修大学 神田キャンパス

（東京都千代田区神田神保町 3-8）

3. 出願期間

2025年8月4日（月）～9月5日（金）

4. 出願書類

- 1) 申込受付自動返信メール
- 2) 受験票確認票
- 3) 認定試験受験資格のための評点表の証明資料
- 4) 写真2枚（縦3.5cm × 横3cm）

※6ヶ月以内のものを提出してください。

明るさ調整以外の写真の加工はお控えください。

（受験者確認票の所定欄に貼付、1枚予備）

- 5) 受験料払込票のコピー

出願時には次のことにご注意下さい。

- ・会員歴：出願時にJSOTの会員であること
- ・研究歴

詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。出願書類は記録の残るもの（書留、信書便等）でお送り下さい。

5. 受験料

30,000円（下記の口座にお振込の上、払込票のコピーを出願書類に同封下さい）

銀行：みずほ銀行

支店：麹町支店（021）

口座番号：普通 1348658

口座名義：一般社団法人日本毒性学会

※領収書につきましては、振込時の振替払込請求書兼受領証にかえさせていただきます。

（通信欄に会員番号を明記下さい）

※出願が受理されますと、受験料は認定試験を受験しなくても返還できませんので、ご注意ください。

6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局

認定試験小委員会

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

（株）毎日学術フォーラム内

TEL. 03-6267-4550 E-mail: jsot@jsot.jp

第53回日本毒性学会学術年会のご案内（第1報）

（年会ホームページ：<https://www.jsot2026.jp/>）

1. 会期

2026年7月1日（水）～3日（金）

2. 会場

グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3-51

TEL：06-4803-5555

URL：<https://www.gco.co.jp/>

3. テーマ

Evolving Toxicology

—多彩な学識の交差点から生まれる知の革新

Innovation Emerging from the Confluence of Diverse Fields

4. 年会長

宮脇 出

（住友ファーマ株式会社）

5. 企画委員（敬称略・五十音順）

上原 孝（岡山大学）

諫田 泰成（国立医薬品食品衛生研究所）

北嶋 聡（国立医薬品食品衛生研究所）

栗林 正伯（小野薬品工業（株））

佐藤 雅彦（愛知学院大学）

篠澤 忠紘（武田薬品工業（株））

鈴木 睦（協和キリン（株））

高橋 祐次（国立医薬品食品衛生研究所）

田口 恵子（東京大学）

角崎 英志（（株）新日本科学）

奈良岡 準（アステラス製薬（株））

中島 美紀（金沢大学）

中西 剛（岐阜薬科大学）

南谷賢一郎（協和キリン（株））

西村 有平（三重大学）

黄 基旭（東北医科薬科大学）

福島 民雄（塩野義製薬（株））

古川 賢（日産化学（株））

本多 正樹（中外製薬（株））

三ヶ島史人（医薬品医療機器総合機構）

水野 忠快（東京大学）

山本 千夏（東邦大学）

吉成 浩一（静岡県立大学）

6. 一般演題募集

一般演題（口演およびポスターでの発表）を2026年1月下旬から受け付ける予定です。

発表は会員のみとなりますので非会員の方は、日本毒性学会事務局にて入会の手続きをお願いします。

日本毒性学会ホームページ：<https://www.jsot.jp>

7. 優秀研究発表賞応募演題

応募条件は現在検討中です。詳細が決まり次第、ご案内いたします。

8. 学生ポスター発表賞応募演題

学術年会（2026年7月1日（水））の時点で学生（大学院生を含む、ただし社会人大学院生は除く）のポスター発表（筆頭著者）の方を対象として候補者を募集します。

※7, 8の賞への重複申請は不可とします。

9. 特別企画

年会長招待講演，特別講演，教育講演，シンポジウム，ワークショップ，キャリア形成支援プログラム，市民公開セミナー，高校生向けコンテストを企画予定です。

10. ランチョンセミナーなどの募集

ランチョンセミナー，広告掲載，企業・関連団体展示を募集します。詳細については追ってご案内します。

11. 参加登録と演題申込

学術年会ホームページからのオンライン登録となります。

詳細についてはホームページをご覧ください。

年会ホームページ：<https://www.jsot2026.jp/>

12. 年会事務局

〒554-0022 大阪市此花区春日出中 3-1-98

住友ファーマ株式会社 前臨床研究ユニット

事務局長：白井 亨（住友ファーマ株式会社）

事務局：宮内 慎（株式会社ファイントゥデイ）

近藤 美和（住友化学株式会社）

E-mail: secretariat@jsot2026.jp

2026年度日本毒性学会 学会賞 候補者推薦要領

毒性学に関連する顕著な研究業績をあげ、かつ日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に日本毒性学会学会賞を授与する。

候補者の資格：現に10年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の4月1日に満65歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員

表彰：授賞者数は毎年1名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<https://www.jsot.jp/award/index.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2,000字以内）
- ・学会賞の対象となる業績目録：原著論文（J. Toxicol. Sci. または Fundam. Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去5年間に日本毒性学会学術年会で発表した一般演題リスト（共同著者の演題を含む）

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2025年12月31日（水）

2026年度日本毒性学会 特別賞 候補者推薦要領

社会における毒性学の認知度の向上, 発展, 充実に大きく貢献した非会員の研究者に日本毒性学会特別賞を授与する。

候補者の資格：日本毒性学会非会員

推薦者の資格：日本毒性学会理事

表彰：授賞者数は毎年, 最大1名とし, 賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者（あるいは代理人）は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：理事1名の推薦を必要とする。推薦者は, 受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し, 日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお, 所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<https://www.jsot.jp/award/special.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名, 授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（1,000字以内）
- ・特別賞の対象となる業績目録：原著論文, 総説・著書, 学会主催, 発表等

推薦書類の送付先：jsothq@jsot.jp（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2025年12月31日（水）

2026年度日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞） 候補者推薦要領

毒性学に関連する顕著な研究業績をあげ、かつ日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に日本毒性学会佐藤哲男賞（国際貢献賞）を授与する。

候補者の資格：現に10年以上継続して日本毒性学会の会員であるもの。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けているものは対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員

表彰：授賞者数は毎年、最大1名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者（あるいは代理人）は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<https://www.jsot.jp/award/satou.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（1,000字以内）
- ・佐藤哲男賞（国際貢献賞）の対象となる業績目録：原著論文、総説・著書、学会主催、発表等

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2025年12月31日（水）

2026年度日本毒性学会 学会貢献賞 候補者推薦要領

本会における学会活動の貢献に敬意を表し、日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に授与する。

候補者の資格：現に20年以上継続して日本毒性学会の会員である者。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員

表彰：授賞者数は毎年1名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

候補者の推薦：評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Wordファイル）は日本毒性学会ホームページ（<https://www.jsot.jp/award/academic.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴、本会における委員等の職歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2,000字以内）
- ・学会貢献賞の対象となる業績目録：学会の活動に貢献した具体的な業績

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2025年12月31日（水）

2026年度日本毒性学会 奨励賞 候補者推薦要領

毒性学に関する研究において独創的な研究業績をあげつつあり、将来が期待される本会会員に日本毒性学会奨励賞を授与する。

候補者の資格：現に3年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の4月1日に満40歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員

表彰：授賞者数は毎年3名以内とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<https://www.jsot.jp/award/encourage.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2000字以内）
- ・奨励賞の対象となる業績の目録：原著論文（J. Toxicol. Sci. または Fundam. Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去3年間に日本毒性学会学術年会で発表した一般演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2025年12月31日（水）

第52回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第52回日本毒性学会学術年会の要旨集（日本語版または英語版）を3,500円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第32回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500円（日本語版または英語版各1部）

通信欄記入事項：①住所②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第52回学術年会要旨集希望の旨（記入例：日本語版1部希望）

※通信欄のご記入住所へ送付いたします。詳細なご記入をお願いいたします。

問い合わせ先：一般社団法人 日本毒性学会
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
パレスサイドビル
（株）毎日学術フォーラム
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsothq@jsot.jp

その他のお知らせ

第 32 回日本免疫毒性学会学術年会

年会長 中西 剛
(岐阜薬科大学 衛生学研究室)

このたび、第 32 回日本免疫毒性学会学術年會を、2025 年 9 月 4 日 (木) および 5 日 (金) に岐阜市文化センターにて開催する運びとなりました。東海地方 (中京圏) での開催は今回が初めてとなり、皆様をお迎えできることを大変嬉しく思っております。

本年会では、「免疫毒性研究のイノベーション創出への貢献を目指して」をテーマに掲げました。岐阜市は、戦国時代に織田信長公が「天下布武」の志を掲げ、新たな時代を切り拓いた地として知られています。信長公が革新と挑戦を重んじたように、私たちの免疫毒性研究もまた、科学的知見に基づき新たなイノベーションを生み出し、社会に貢献することが期待されています。このような背景のもと、特別講演には医薬基盤・健康・栄養研究所の國澤 純先生をお迎えし、腸内環境と免疫毒性との関わりについて、最新の知見を交えてご講演いただく予定です。腸内環境は、アレルギーなどの免疫疾患にとどまらず、肥満、糖尿病、高血圧、がんといった生活習慣病、さらには認知症やうつ病にも深く関与していることが示唆されており、現在、非常に注目を集めている研究テーマの一つです。また、教育講演には大阪大学大学院工学研究科の新聞秀一先生をお招きし、質量分析イメージングの基礎から応用に至るまでをご紹介いただくことにしました。近年、様々なライフサイエンス分野での応用が期待されるこの技術について、免疫毒性研究への展開を考えるうえで非常に有意義な機会となるものと期待しております。

本年会では、免疫毒性研究の最前線でご活躍中の多くの研究者・専門家の皆様にご参集いただき、最新の知見を共有するとともに、今後の発展の方向性を議論する場となることを期待しております。異分野との融合や新たな視点の導入を通じて、革新的なアプローチが生まれる契機となれば幸いです。なお、本学会では初年度年会費無料制度を設けております。初めて学会にご参加・ご発表いただく方には、初年度の年会費を無料とさせていただきますので、ご興味をお持ちの方はぜひこの制度をご活用いただき、ご参加いただければ幸いです。

歴史と文化の息づく岐阜の地において、未来につながる活発な議論が展開されることを心より願っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

年会 URL

<https://www.japanimmunotox.org/jsit2025/index.html>

第 36 回日本微量元素学会学術集會のご案内

第 36 回日本微量元素学会学術集會を、令和 7 年 9 月 20 日 (土) ~ 21 日 (日) に京都薬科大学躬行館 (京都市山科区) に於いて開催いたします。

本学術集會は、「人生 100 年時代を健康に生き抜く」を旗幟とし、微量元素が関わる各専門領域の研究進展や国民の健康福祉への社会貢献を図ることに主題を設定いたしました。

プログラムは、一般演題 (口頭発表とポスター発表) の他に、特別講演、教育講演、受賞講演、シンポジウム 1・2、ランチョンセミナーを予定しています。特にシンポジウムでは、微量元素の分析科学に関する基礎と臨床、微量元素の栄養と医薬に関する基礎と臨床をまとめて講演いただき、現状と今後の基礎研究からさらなる臨床研究や臨床応用を目指して、多様な角度から活発に議論していただきたいと存じます。

まだ残暑が続きそうなお彼岸直前の、千年を超える古都京都の初秋の空の下、この先の若い世代へと継承する微量元素研究の道程を進み続けるべく、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会期：2025 年 9 月 20 日 (土) ~ 21 日 (日)

会場：京都薬科大学 躬行館 (〒 607-8414 京都市山科区御陵中内町 5)

主催：日本微量元素学会

会長：安井 裕之 (京都薬科大学 代謝分析学分野)

ホームページ：https://labo.kyoto-phu.ac.jp/taisya/HP_BRTE2025/BRTE2025.html

早期参加登録期限：2025 年 7 月 22 日 (火)

演題募集期限：2025 年 7 月 22 日 (火)

事務局

京都薬科大学 代謝分析学分野

〒 607-8414 京都市山科区御陵中内町 5

Tel : 075-595-4630

E-mail : brte2025@mb.kyoto-phu.ac.jp

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

2022年9月2日付で「研究倫理要綱」と「研究倫理問題に関する規程」が新たに制定されました。学会ホームページでご確認をお願いします。

一般社団法人日本毒性学会 定款

一般社団法人日本毒性学会 研究倫理要綱

一般社団法人日本毒性学会 研究倫理問題に関する規程

一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針

一般社団法人日本毒性学会 入会規程

一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程

一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程

一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程

一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程

一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則

一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程

一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

J. Toxicol. Sci. 投稿規程

Fundam.Toxicol.Sci. 投稿規程

一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程

一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程

一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞）選考規程

一般社団法人日本毒性学会 学会貢献賞選考規程

一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程

一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程

一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程

一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程

一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程

一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程

一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則

一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則

一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程

一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針

高い再現性と信頼性で短期発がん性試験を実現したモデルマウス

rasH2 マウス

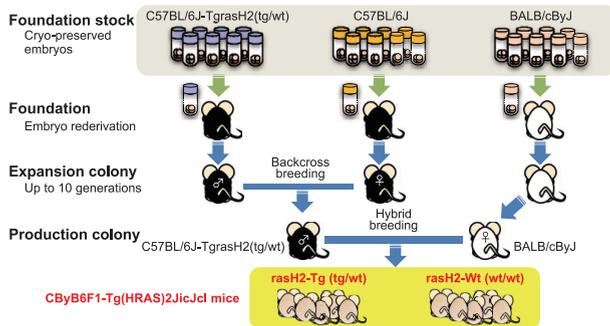


rasH2マウスは(公財)実中研、東海大学医学部、国立がんセンター研究所(当時)との共同研究により開発されました。(Saitoh A. et al., Oncogene. 1990)。その後1993年に実中研で発がん性評価試験の実用化を開始、1997年から2001年の5年間における日米欧の産官学50施設の国際共同研究(ILSI/HESI)によってrasH2マウスの高い発がん性評価の再現性、安定性が証明されました。当社では、2001年より本格的生産・供給をしております。

2024年現在、遺伝子改変マウスによる短期発がん性試験のスタンダードモデルとして認知され、世界各国で利用頂いております。

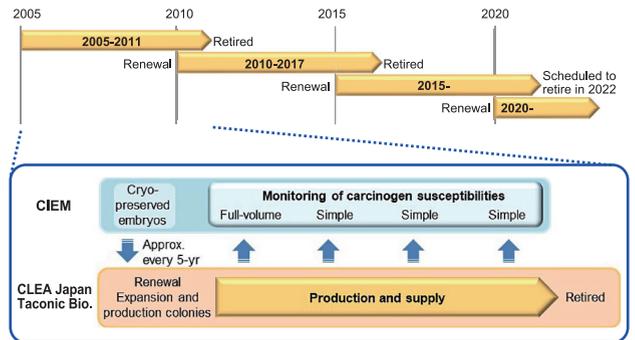
rasH2マウス:生産システム

- ◆ rasH2マウスの“発がん感受性”を永続的・安定的な維持と安定供給のためにデザインされた生産システム



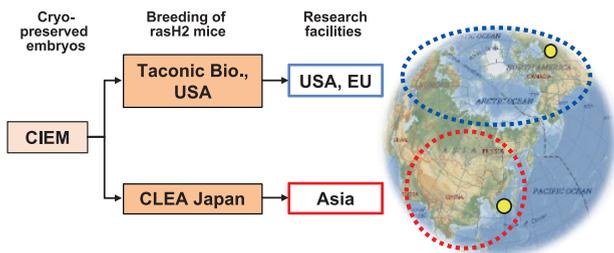
rasH2マウス:品質管理システム

- ◆ rasH2マウスの“発がん感受性”を確認・保証するためにデザインされた品質管理システム



rasH2マウス:グローバルな安定供給体制

- ◆ 日本クレア、Taconic Biosciencesにて、定められ生産システムに基づきrasH2マウスを生産し、世界各国に供給しています。



発がん性試験が実施された医薬品の承認状況

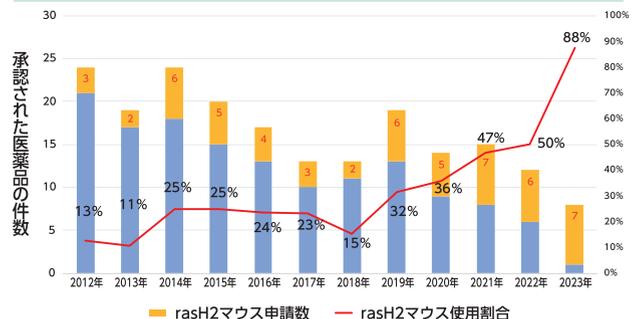


図: 日本国内の発がん性試験推移 (PMDAのHPより独自調査)

受注センター
東京AD部
大阪AD部
仙台出張所
札幌出張所
名古屋出張所

〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7
〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町6-5
〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂1-30-24
〒063-0849 北海道札幌市西区八軒9条西10-4-28
〒465-0093 愛知県名古屋市名東区一社3-79

TEL.03-5704-7123
TEL.03-5704-7050
TEL.06-4861-7101
TEL.022-352-4417
TEL.011-631-2725
TEL.052-715-7580

FAX.03-3792-2368
FAX.03-3792-2032
FAX.06-4861-7108
FAX.022-352-4419
FAX.011-644-9209
FAX.052-715-7590



日本クレア株式会社

CLEA-Japan.com





SNBL



環境、生命、人材 を大切にしている会社であり続ける



1957年創業

日本初の非臨床試験受託機関



霊長類の安全性研究で世界最大級の施設

自家繁殖機能を拡大、安定供給を実現



国内No.1の試験実績で

世界水準の技術力を世に提供



株式会社新日本科学

Web: <https://www.snbl.co.jp/> Email: info@snbl.com



SLCの実験動物



マウス

●アウトブリード

Slc : ddY
Slc : ICR

●インブリード

DBA/1JmsSlc(コラーゲン薬物誘導関節炎)
BALB/cCrSlc
C57BL/6NCRSlc・C57BL/6JmsSlc(J由来)
C3H/HeSlc
C3H/HeNSlc
C3H/HeYokSlc
DBA/2CrSlc
NZW/NSlc
A/JmsSlc
AKR/NSlc
NC/NgaSlc(薬物・アレルギー誘導アトピー性皮膚炎)
CBA/NSlc
129x1/SvJmsSlc

●B10コンジュニク

C57BL/10SnSlc
B10.A/SgSnSlc・B10.BR/SgSnSlc
B10.D2/nSgSnSlc・B10.S/SgSlc

●ハイブリッド

B6D2F1/Slc(Slc:BDF1)
CB6F1/Slc(Slc:CBF1)
CD2F1/Slc(Slc:CDF1)
B6C3F1/Slc(Slc:B6C3F1)
(NZWX)BXSB)F1/Slc受注生産
※上記以外の系統については御相談ください。

●ヌードマウス(ミュータント系)

BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1^{nu}*)
KSN/Slc(*Foxn1^{nu}*)

●疾患モデル

BXSB/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)
C3H/HeJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas^{lpr}*)
C57BL/6JmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas^{lpr}*)
MRL/MpJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas^{lpr}*)
NZB/NSlc(自己免疫疾患)
NZBWf1/Slc(自己免疫疾患)

WBB6F1/Kit-*Kit^{fl/fl}*/Slc(肥満細胞欠損貧血-*Kit^{fl/fl}*)

NC/Nga(皮膚炎)

- ★ SAMR1/TaSlc(非胸腺リンパ腫・SAM系対照動物)
- ★ SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)
- ★ SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)
- ★ SAMP8/TaSlc(学習・記憶障害)
- ★ SAMP10/TaldrSlc(脳萎縮・うつ様行動)
- ★ SAMP10-△Sg12(SG12変異による腎性糖尿・脳萎縮を伴う学習記憶障害うつ様行動)
- AKITA/Slc
- C57BL/6HemSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lep^{ob}*)
- HIGA/NscSlc(1gA腎症)
- B6.KOR/SlmSlc-*ApoE^{fl/fl}*(アポE欠損高脂血症-*ApoE^{fl/fl}*)
- C.KOR/SlmSlc-*ApoE^{fl/fl}*(アポE欠損高脂血症-*ApoE^{fl/fl}*)

ラット

●アウトブリード

Slc : SD
Slc : Wistar
Slc : Wistar/ST

●インブリード

F344/NSlc
BN/SsNSlc
Wistar/KyJmsSlc(薬物誘導性関節炎)
LEW/SsNSlc(薬物誘導性関節炎)

●ヌードラット

Slc : Long-Evans-*rnul^{nu}*

●疾患モデル

★ SHR/Izm(高血圧)
★ SHRSP/Izm(脳卒中)
★ WKY/Izm(SHR/Izmのコントロール)
★ SHRSP5/Dmcr(NASHモデル【HFC飼料給餌】)
★ SHRSP/Ezo(AD/HD)
DIS/EisSlc(食塩感受性高血圧症)
DIR/EisSlc(食塩抵抗性)
Slc : Zucker-*fa/fa*(肥満-*Lep^{ob}*)
HWY/Slc(ヘアレスラット)

モルモット

●アウトブリード

Slc : Hartley

ウサギ

●アウトブリード

Slc : JW/OSK
Slc : NZW

ハムスター

●アウトブリード

Slc : Syrian

●疾患モデル

J2N-k(心筋症モデル)
J2N-n(J2N-kのコントロール)

スナネズミ

●インブリード

MON/Jms/GbsSlc

無菌動物

●インブリードラット

F344/NSlc(GF)

●インブリードマウス(三協ラボサービス株)

Tsl : C57BL/6NCR

遺伝子改変動物

●マウス

C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)
C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpr delta*)
BALB/c-*Rag-2^{-/-}Jak3^{-/-}*(高度免疫不全)

●ヌードマウス

C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)

●ラット

SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)
F344/NSlc-Tg(*gpr delta*)
★ Slc:SD-Tg(SOD1H46R-4)

●疾患モデル

★ APPSK-Tg[C57BL/6-Tg(APP^{sw})](オリゴマ病理-老人型形成なし)
★ APPWT-Tg[C57BL/6-Tg(APP^{wt})](APPskの対照動物)
★ Tau609-Tg[C57BL/6-Tg(*tau609*)](タウ病理)
★ Tau784-Tg[C57BL/6-Tg(*tau784*)](タウ病理)
★ Tau264-Tg[C57BL/6-Tg(*tau264*)](Tau609, Tau784の対照動物)
— マックインマウス —
★ OSK-KI[C57BL/6-Tg(OSK-KI)](マウス β 産生)
(特許第6323876号)

(株)星野試験動物飼育所

●アウトブリードマウス

Hos : HR-1(ハアレス)

●ハイブリッドマウス

Hos : HRM2(メラニン保有)

●アウトブリードラット

Hos : OLETF(2型糖尿病)
Hos : LETO(OLETFの対照動物)
Hos : ZFDM-*Lep^{ob}*(2型糖尿病)

(一財)動物繁殖研究所

●インブリードマウス

IVCS(4日性周期)
C57BLKS/Jlar-*Lep^{ob}*/*Lep^{ob}*(肥満2型糖尿病)
TSOD(肥満2型糖尿病)

●アウトブリードラット

lar : Wistar-Imamichi
lar : Long-Evans

エンヴィーゴ(旧ハラーンOEM生物動物)

●アウトブリードラット

★ RecHan[®] : WIST

●インブリードマウス

★ CBA/Ca0laHsd

●免疫不全モデルマウス

★ C.B-17/lcrHsd-*Prkdc^{scid}*

その他(conventional動物)

●ミニプタ

☆(一財)日生研・NPO法人医用ミニプタ研究所)

●マイクロナビニグ

☆国内繁殖生産(富士マイクラ(株))

●医学用ペビーブタ(SPF)SHIZUOKA EXPIG

☆静岡県畜産技術研究所小家畜研究センター

●ビーグル犬

☆国内繁殖生産((一財)動物繁殖研究所)

●フェレット

自家繁殖生産(中伊豆支所)

★印は受託生産動物、☆印は仕入販売動物です。



日本エス エル シー株式会社

〒431-1103 静岡県浜松市中央区湖東町3371-8

TEL(053)486-3178(代) FAX(053)486-3156

<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用
TEL

関東エリア (053)486-3155(代)

関西エリア (053)486-3157(代)

九州エリア (0942)41-1656(代)

一般社団法人 日本毒性学会

[名誉会員 (就任年度順)]

今道 友則	池田 正之	加藤 隆一	井村 伸正
佐藤 哲男	渡辺 民朗	小野寺 威	遠藤 仁
鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓
福島 昭治	津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫
大野 泰雄	上野 光一	山添 康	永沼 章
中村 和市	眞鍋 淳		

[功労会員 (就任年度順)]

高仲 正	佐藤 温重	安田 峯生	大沢 基保
今井 清	降矢 強	玄番 宗一	唐木 英明
仮家 公夫	暮部 勝	野村 護	牧 栄二
三森 国敏	佐神 文郎	遠山 千春	小野寺博志
杉本 哲敏	西田 信之	中村 和市	姫野誠一郎
眞鍋 淳	安仁屋洋子	横井 毅	久田 茂
青木 豊彦	山田 久陽	天野 幸紀	菅野 純
佐藤 雅彦	苗代 一郎	中江 大	鰐淵 英機
熊谷 嘉人	渋谷 淳		

[賛助会員 (五十音順)]

●ダイヤモンド

(株)新日本科学

●プラチナ

第一三共(株)

●ゴールド

旭化成ファーマ(株)	あすか製薬(株)
アステラス製薬(株)	EAファーマ(株)
エーザイ(株)	大塚製薬(株)
小野薬品工業(株)	花王(株)
一般財団法人化学物質評価研究機構	科研製薬(株)
杏林製薬(株)	協和キリン(株)
興和(株)	三栄源エフ・エフ・アイ(株)
サントリーホールディングス(株)	(株)三和化学研究所
塩野義製薬(株)	(株)資生堂
シミックファーマサイエンス(株)	(株)新日本科学イナリサーチセンター
住友ファーマ(株)	住友化学(株)
(一財)生物科学安全研究所	ゼリア新薬工業(株)
千寿製薬(株)	大正製薬(株)
大鵬薬品工業(株)	武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)	中外製薬(株)
トーアエイヨー(株)	東レ(株)
株式会社トランスジェニック	(一社)日本化学工業協会
日本香料工業会	日本新薬(株)
ファイザー(株)	扶桑薬品工業(株)
(株)ボゾリサーチセンター	Meiji Seika ファルマ(株)
メディフォード(株)	持田製薬(株)
(株)薬物安全性試験センター	ヤンセンファーマ株式会社
ライオン(株)	

[役員] (2024 ~ 2025 年度)

理事長	広瀬 明彦	浅沼 幹人	阿部 (富澤) 香織
理事	朝倉 省二	鍛冶 利幸	北嶋 聡
	安西 尚彦	田口 恵子	土屋 由美
	鈴木 睦	南谷賢一郎	西村 泰光
	奈良岡 準	藤村 成剛	藤原 泰之
	黄 基旭	務台 衛	山本 千夏
	宮内 慎		
	吉成 浩一		
監事	杉山 篤	三浦 伸彦	

[学術年会長]

第52回 (2025年) 黄 基旭
 第53回 (2026年) 宮脇 出
 第54回 (2027年) 安西 尚彦
 第55回 (2028年) 角崎 英志

[委員会] (2024 ~ 2025 年度)

●印: 常置委員会 ◆印: 小委員会、WG

● 理事長 広瀬 明彦

● 総務委員会 委員長 藤原 泰之
 ◆ 連携小委員会 委員長 黄 基旭
 ◆ 評議員選考小委員会 委員長 北嶋 聡
 ◆ 名誉会員および功労会員選考委員会 委員長 藤原 泰之
 ◆ 指針値検討小委員会 委員長 橋本 清弘
 ◆ 企画戦略小委員会 委員長 高橋 祐次
 ◆ ダイバーシティ推進 WG WG長 安西 尚彦
 ◆ 中高生向け企画小委員会 委員長 奈良岡 準

● 財務委員会 委員長 朝倉 省二

● 編集委員会 委員長 鍛冶 利幸
 副委員長 古武弥一郎
 副委員長 藤原 泰之
 ◆ JTS 編集委員会 委員長 鍛冶 利幸
 副委員長 古武弥一郎
 副委員長 藤原 泰之
 ◆ FTS 編集委員会 委員長 永沼 章
 ◆ Executive Editor 小委員会 委員長 永沼 章
 ◆ 田邊賞選考小委員会 委員長 黄 基旭
 ◆ 毒性学ニュース編集委員会 委員長 古武弥一郎

● 教育委員会 委員長 土屋 由美
 (小委員長・委員は10月末で交代)
 ◆ 生涯教育小委員会 委員長 美谷島克宏
 ◆ 基礎講習会小委員会 委員長 橋本 清弘
 ◆ 認定試験小委員会 委員長 福島 民雄
 ◆ トキシコロジー 4ed. 編集 WG WG長 鈴木 睦

● 学術広報委員会 委員長 吉成 浩一
 ◆ 学会賞等選考小委員会 委員長 山添 康
 ◆ 佐藤哲男賞・学会貢献賞選考小委員会 委員長 姫野誠一郎
 ◆ 特別賞等選考小委員会 委員長 菅野 純
 ◆ 技術賞選考小委員会 委員長 三島 雅之
 ◆ 日化協 LRI 賞選考小委員会 委員長 小椋 康光
 ◆ 学術小委員会 委員長 吉成 浩一
 ◆ 広報小委員会・HP 担当 委員長 宮内 慎
 副委員長 黒岩 有一
 ◆ トピックス小委員会 委員長 北口 隆

その他関連の委員会

○ IUTOX 担当 西村 泰光
 Executive Committee, Director 広瀬 明彦
 ○ ASIATOX 担当 田口 恵子
 ASIATOX Councilor 田口 恵子 小椋 康光
 広瀬 明彦 熊谷 嘉人
 菅野 純
 ○ SOT 担当 小野 竜一 西村 拓也
 ○ 日本学術会議担当 石塚真由美
 委員 菅野 純 石塚真由美
 小椋 康光

部会

○ 生体金属部会 部会長 浅沼 幹人
 ○ 医薬品毒性機序部会 部会長 北嶋 聡
 ○ 付加体科学部会 部会長 上原 孝

2025年8月1日 印刷

2025年8月1日 発行

発行人 広瀬 明彦
編集人 鍛冶 利幸
毒学ニュース編集委員会委員長 古武 弥一郎

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
(株)毎日学術フォーラム
一般社団法人日本毒性学会事務局
TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555
E-mail : jsotq@jsot.jp
振替 00150-9-426831
<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社 センキョウ
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2
TEL (022) 236-7161